

希少動物モニタリング

1 コウチュウ目

レッドリストに指定された 23 種（いずれも成虫）の生息を確認した。内訳は絶滅危惧Ⅰ類 3 種、絶滅危惧Ⅱ類 4 種、準絶滅危惧 12 種、情報不足 4 種である。既知生息地の多くは発生状況等が現状維持の状態であった。また、11 種で新たな生息地が見つかり、1977 年以來の新生息地での確認も 1 種あった。しかし、大部分の種は環境急変や開発行為による個体数の減少や絶滅が危惧される状況である。

(須田 亨)

2 コオイムシ科昆虫

タガメについては生息しているかどうかの確認、オオコオイムシとコオイムシについては新たな生息地を見つけることと既知生息地での個体数の増減を調べることを目的に調査を行った。

タガメは確認できなかった。

オオコオイムシについては新たな生息地は見つからなかった。また、西毛の既知生息地では確認できたが、前年より個体数が激減していた。

コオイムシについては生息情報を本会会員 2 名から得たが、現地調査はできなかった。

(宮原 義夫・土屋 清喜・茶珍 護・峰村 宏・斎藤 晋)

3 ホトケドジョウ

今年度(令和元年度)は赤城山南面の中・小河川計 21 地点で口径 30 cm ほどのタモ網による生息確認調査を行った。そのうち、6 地点でホトケドジョウを確認した。得られたのは合計で 12 個体であった。かつての調査と比べ確認地点数や個体数が大きく減少していた。

(相澤 裕幸)